



自衛隊栃木地方協力本部

4日間4つの個駐屯地基地で高校生のインターンシップ ～自衛隊の魅力を満喫！～



F-2の前で記念撮影



コックピットに座る学生。気分はパイロット?!



体験試着の様子

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所(所長 本村1空尉)は6月27日(火)から30日(金)にかけて足利工業高校のインターンシップを支援した。6月27日に宇都宮駐屯地、28日に北宇都宮駐屯地、29日に古河駐屯地、30日に百里基地と各々特性が異なる部隊を見学することができ、活動体験では体験搭乗やロープワーク、車両見学等を行い、自衛隊の魅力を満喫した充実した時間となった。

特に百里基地ではテレビだけではしか見ることができなかった戦闘機をみた学生は「うわあ、すげえ!」と実物の大きさと迫力に感動し、コックピットに座り緊張しながらも真剣に自衛官の操作説明を聞いていた。

足利地域事務所は「今後も、学校からの要望に最大限こたえ、協力関係を深化させ、募集基盤の強化に努める」としている。

少年院で職業講話

～地域との連携強化、社会福祉の一助を担う～



人命捜索・救助セットの展示



探索用音響探知機の体験の様子



職業講話の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所(所長 高井1陸尉)は、6月29日(金)、喜連川少年院より依頼を受け、職業講話(ワーキングトーク)を行った。

職業講話(ワーキングトーク)とは、「職業生活設計指導」としての講話聴取であり、出院後の安定した職業生活に向けて、就労にとって大切なものは何かというテーマについて考えさせるものである。これまでも、青少年の「定職の継続」を最大の目的として、様々な業種の方々が(消防士、元Jリーガー、高校教諭、飼育員等)で講話を行っている。

当日、大田原所長(高井1陸尉)が自衛隊の活動の一つ「災害派遣の活動」について、講話を行うと、青年たちは興味深く聞き入り、「実際に探索器材を使用したことがありますか?」「自衛隊の採用試験ってどんなことをするんですか?」「自衛隊の体力練成はどれくらいやりますか?」等、たくさん質問を受けた。

講話後は、破壊構造物探知機及び探索用音響探知機の展示・体験及び人命捜索・救助セットの試着を行い、青年たちは救助の大変さと大切さを学んでいた。

大田原地域事務所は、「今後も、様々な場面や場所地域との連携を積極的に図り、あらゆる機会をとらえて、自衛隊の魅力を伝えていく」としている。

栃木県防衛協会佐野支部総会支援 ～本部長講話4年ぶりに多くの会員が傾聴～



防衛講和風景

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所長(所長 本村1空尉)は7月1日(土)、ホテルサンルート佐野にて、栃木県防衛協会佐野支部総会をした。

総会には栃木県防衛協会副会長(浦田 奨氏)や佐野市長(金子 裕氏)をはじめ、80名の会員が参加した。

また、「我が国の防衛」と題し、栃木本部長(1陸佐 梶 恒一郎)の防衛講話が実施され、我が国を取りまく安全保障環境を再確認する非常に良い機会となった。会員からは「本部長がわざわざ佐野市まで足を運んでいただけるなんて!大変貴重な講話をありがとうございました。」と感謝する場面もみられた。

足利地域事務所は「今後も、防衛協会をはじめとする協力4団体との関係をより向上させ、自衛隊に対する理解促進及び協力関係の醸成に努めていく」としている。